

市民団体が提言書

浜岡原発 防災計画策定に向け

市民団体「ふじのくに」は、静岡県に浜岡原発を考える「ふじのくに、東海地震で中部電力浜岡原発が事故を起こした場合の防災計画策定に関する提言書」を県や中部電力などに提出した。

提言書は先月、静岡市内で開かれたシンポジウム「東海地震と浜岡原発」(同会主催、毎日新聞静岡支局など後援)で、県民などが起草した課題や意見を集約したもの。浜岡



提言書を手交する「ふじのくに浜岡原発を考える会」のメンバー(左)

毎日新聞朝刊
2012.5.12 (土)

全体で防災計画を策定すること——を提言している。

また、課題として、1人で避難することができない障害者や高齢者などの避難方法の検討や、県民への避難ルートなどの事前周知、放射能漏れ事故にも対応できる津波避難タワーの建設——などを挙げた。

【山本佳孝】

原発を再稼働しないことを前提とした複合災害防災計画の策定▽津波の影響のない高台に空冷式貯蔵施設を建設して使用済み核燃料を保管▽市民や行政、企業などが協力し静岡県

の杉浦邦彦課長は「県民のいろいろな意見を聞いて検討していく。県民も県などが公開している情報を積極的に得てほしい」と話した。同会の戸倉由紀枝さん(45)は「行政と市民の信頼関係がないと現実的な防災計画が進まないの、関係を醸成していきたい」と話した。

県の防災計画に 保護団体が提言

「再稼働せず」前提求める
県が見直しを進める地域防災計画について、県内約20の自然保護団体でつくる「ふじのくに浜岡原発を考える会」は11日、浜岡原発を再稼働しないことを前提とした内容にするよう県に提言書を出した。

提言書では、津波の影響のない高台に、使用済み燃料の乾式貯蔵施設を建設することなどを求めている。

「考える会」のメンバー

朝日新聞朝刊
2012年5月12日 (土)

の戸倉由紀枝さん(45)と上田由紀さん(44)は「防災計画は住民と一緒に作り上げていくもの。行政との信頼関係を醸成するためにも、意見交換の場を作ってほしい」と話した。

浜岡原発対策

県防災計画策定へ提言

市民グループ「対立せず具体的に」

中部電力浜岡原発（御前崎市）の在り方を考える市民グループなどで行く「ふじのくに浜岡原発を考える会」は十一日、原発事故に備えた県の防災計画策定に対する提言書を川勝平太知事あてに提出した。

（広瀬和夫）



県原子力安全対策課の杉浦課長に提言書を手渡すふじのくに浜岡原発を考える会の戸倉さん（左）ら一行で

提言書は、浜岡原発 策定▽決定には市民やを再稼働しないことを 行政、企業、報道機関が 前提にした防災計画の 協力する▽建設の影響 済み核燃料を保管する などを求めている。

提言は県の防災担当 者、浜岡原発周辺の市 長、原子炉専門家、地 帯研究者、市民らを招 いて四月七日に実施し たシンポジウムで挙が った意見をまとめた。

県原子力安全対策課 に提出した同会事務局 担当の戸倉由紀枝さん （右）は「原発を止め ていないと現実的な防 災計画が立てられない、 行政と対立せず、 具体的なことを考えた

い」と語った。同課の 杉浦邦彦課長は「積極 的に情報公開し、いろ んな意見を参考にしな さい。市民も知事努力を お願ひします」と答え た。

中日新聞朝刊2012年5月12日（土）

「1年間だと約6万 円にもなる。低所得者 層にとってはかなりの 負担増だ」と話してい る。

浜岡原発事故想定 防災計画の策定を 環境団体が提言書

県内の環境保護団体 で行く「ふじのくに 浜岡原発を考える会」 は11日、中部電力浜岡 原発（御前崎市佐倉） の防災計画策定に関す る提言書を県に提出し た。

提言書は4月に静岡 市内で開いたシンポジ ウムで参加者から挙が った課題を元にもとめ た。原発を再稼働しな いことを前提にした防 災計画の策定▽使用済 み燃料を保管する乾式 貯蔵施設を高台に建設 ▽放射能漏れ事故の防 止と発生時の対策一な どを求めている。

考える会の戸倉山紀 枝さん（45）、上田山紀 さん（44）が県庁を訪 ね、杉浦邦彦県原子力 安全対策課長に提言書 を手渡した。提言書は 中電静岡支店にも届 け、県内35市町には郷 送した。

さのうの最	
(午後3時ま	
岡原代島路駅	21.6
前	22.0
前	22.0
前	22.1
前	22.0
前	22.1
前	22.3
前	22.4